

令和5年 第8回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和5年 9月7日(木)

場 所 武豊町役場 第1会議室

出席委員の氏名

| | | | | | |
|----------|-------|---|---|-------|--|
| 教 育 長 | 榊原 寛二 | | | | |
| 教育長職務代理者 | 永田 淑子 | 委 | 員 | 堤田 綾子 | |
| 委 員 | 浅野俊太郎 | 委 | 員 | 小藤 省吾 | |

出席職員の氏名

| | | | | |
|-----------|-------|-------------|-------|--|
| 教 育 部 長 | 近藤 昭子 | 学 校 教 育 課 長 | 森田 光一 | |
| 生涯学習課長 | 伊藤誠一郎 | ス ポ ー ツ 課 長 | 佐伯 広行 | |
| 町民会館事務長 | 藤井 信介 | 歴史民俗資料館長 | 山下 恵広 | |
| 中央公民館長 | 内田 大介 | 生涯学習課課長補佐 | 神谷 芳美 | |
| 町民会館事務長補佐 | 栗田 宗広 | スポーツ課課長補佐 | 石川 恭太 | |
| 給食センター所長 | 青木 隆 | 学校教育課課長補佐 | 藤井 千絵 | |
| 学校教育課指導主事 | 神谷 俊輔 | 学校教育課指導主事 | 小田島 健 | |

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに第7回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第8回定例会の開会を宣言する。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

3. 教育長報告

- 7月13日(木) ・町定例教育委員会
- 7月18日(火) ・校長教委管理職会議
- 7月19日(水) ・コミュニティスクール先進地域視察(知多市)
- 7月20日(木) ・臨時教育委員会
- 7月21日(金) ・表敬訪問 全日本卓球選手権大会愛知県予選会入賞者小学生1名(全国大会出場予定)

- ・表敬訪問 全国中学生空手道選手権大会出場予定
男子団体形 中学生4名
女子団体形 中学生4名
- ・表敬訪問 日本スポーツマスターズ2023空手道競技
出場予定 男子2部 女子1部 女子2部
- 7月23日(日) ・吉町田湿地一般公開
- 7月25日(火) ・JFEものづくり教室
- 7月26日(水) ・町教委点検評価委員会
- 8月4日(木) ・知教協幹事会
- 8月4日(金) ・東海大会・全国大会激励会
【武豊中】陸上競技 男子800m(東海大会)(全国大会)
男子走高跳(東海大会)男子四種競技(全国大会)
男子110mH(東海大会)(全国大会)
男子棒高跳(東海大会)
ソフトテニス 女子個人戦(東海大会)
卓球 女子団体(東海大会)
新体操 男子団体(東海ジュニア大会)
新体操 女子団体(東海大会)
- 8月8日(火) ・第2回地域クラブ活動準備委員会
- 8月19日(土) ・ふるさとまつり(20日まで)
- 8月20日(日) ・陸上町民大会
- 8月21日(月) ・武豊町教育懇談会(理財委員会)
- 8月23日(水) ・地域とともにある学校づくり愛知フォーラム・研修会
(安城市)
- 8月24日(木) ・東海北陸町村教育長会研究協議会愛知大会
(~25日まで)
- 9月1日(金) ・コミュニティスクール打合せ会(衣浦小)
- 9月6日(水) ・制服改定プロポーザル会議
- 9月7日(木) ・定例教育委員会 ・総合教育会議

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

4. 議 事

(教育長) それでは議案第24号 9月議会定例会 補正予算(案)について、事務局お願いします。

議案第24号 9月議会定例会 補正予算について(案)

(学校教育課長) 資料1について説明

愛知県「休み方改革」プロジェクトの取組として「ラーケーションの日」を導入する。このモデル事業への実施にあたり、増加する教職員の業務負担軽減

を図るため、校務支援員（会計年度任用職員）を各校1名増員するため、補正を行う。

（中央公民館長） 資料について説明

自家発電機の故障に対して修繕を行うためと、新紙幣に対応できる券売機の購入のために補正を行う。

（スポーツ課課長補佐） 資料について説明

施設利用券の自動券売機を新紙幣に対応できるものにするためと、経年劣化により破損した運動公園弓道場の浄化槽修繕のため、補正を行う。

（教育長） それでは、採決に入ります。議案第24号 9月議会定例会 補正予算（案）について、ご承認いただけますでしょうか。

<全員挙手>

（教育長） 本案を承認可決することといたします。

（教育長） それでは議案25号についてお願いします。

議案第25号 武豊町民会館運営委員会委員について（案）

（町民会館事務長） 資料2について説明

前任者の異動に伴い、後任の加藤隆士氏を町民会館の運営委員として委嘱する。任期は今年度末の令和6年3月31日までとする。

（教育長） それでは、採決に入ります。議案第25号 武豊町民会館運営委員会委員（案）について、ご承認いただけますでしょうか。

<全員挙手>

（教育長） 本案を承認可決することといたします。

（教育長） それでは議事を終了し、進行を教育部長にお願いします。

（教育部長） 報告事項に移ります。

5. 報告事項

(1) 9月議会定例会 一般質問要旨について

(教育部長) 資料について説明

- ・人にやさしい印刷物について
- ・義務教育における保護者負担について
学校指定購入品・補助教材の購入、学校徴収金の使途
適正な経費であるかの確認・監査、デジタル教材導入の進捗状況
- ・障がい児の保育・教育について
支援級在籍に向けた保護者説明、不適切な行動に対する指導
- ・外国にルーツをもつ子どもと保護者への支援について
外国にルーツをもつ子どもの就学状況、日本語指導が必要な児童生徒
学校の受け入れ態勢と児童生徒への支援の状況
- ・ラーケーションの日の実施について
多くの児童生徒が同日にラーケーションの日を取得した場合の対応
ラーケーションを実施できない児童生徒への配慮
- ・CCNC プール武豊について
高齢者福祉対策として事業内容の充実
- ・夏季休業中の児童クラブの昼食について
給食センターによる昼食の提供の可否
- ・武豊高等学校への給食導入について

(2) 令和5年度武豊町教育委員会の点検・評価に対する意見および総評 (令和4年度分) について

(指導主事) 資料3について説明

委員長総評にある通り、武豊町の教育行政や学校教育活動をよりよくするための提言がなされた。町民の豊かな生活を生み出すために、今後も今ある取り組みを深化・発展させていく。

(3) 学校の近況について

(指導主事) 各校の近況 等

- ・ラーケーションの日の実施について
- ・制服改定について
- ・児童生徒の問題行動について

(教育委員) いじめに当たるのではないかと考えられる事案について、学校ではどのような対応をされているのでしょうか。

(指導主事) 学校では、いじめについて確認、調査を行い、把握した事実をきちんと保護者へ伝えていきます。一方で調査を行っても不確かな部分もあり、それについては、今後も保護者と協力して対処することを、先生と保護者とのコミュニケーションの中で確認しています。

(教育委員) 話の中に、ネットを通じて心情を吐露する子どもの姿がありました。武豊町として、そういった子どもたちの発信を、いち早く察知して対応へ生かせる仕組みがあるとよいと考えます。

(4) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料4について説明(9月~12月)

6. その他

町民会館より

(町民会館事務長)

・ゆめプラ通信 等 各種事業について

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・この9月をもって、8年の任期満了となります。本当にお世話になりました。振り返ると、熱中症や新型コロナウイルスの対応等で、学校も大きく変わりました。施設一つをとってみても、教室のエアコンや自動水栓による手洗い場の設置など、町の対策の早さ、現場主義に基づいた対応に感謝しております。また、町長をはじめ教育長、事務局、教育委員と武豊町教育委員会で多くの方と出会いましたが、本当に一期一会で素晴らしい出会いをさせていただきました。ありがとうございました。
- ・子どもの幸福度についてユニセフが調べたところ、日本は身体的健康では1位であるのに対して、精神的幸福度は37位とワースト2位だったそうです。これからの学校では、どのようにして子どもの自己肯定感を高め、幸福を感じさせていけばよいかについてや、子どもたちを精神的な面からどう育てるかについて考えることが大切な時代となっていくと感じました。
- ・ニュースでは給食業者の倒産が話題となっています。武豊町では物資高騰に伴う食材の値上がりに対応するため、今年度は町が一食当たり40円を補助していると、お便りに掲載されていました。時代が大きく変化する中、武豊町の職員の方は様々なことを考え、見据えて対応をしていただいているのだと感じます。この先に何が起こるかわからない大変な時代ですが、「武豊は一つ」を合言葉に、乗り切っていただければと思います。

(教育委員)

- ・この夏休み、甲子園で優勝した慶応高校の主将の言葉で、「自分たちの野球は、髪が長いとか、笑顔でとか、色々言われるかと思うが、一番伝えたいことは、いろいろな高校野球の形があっていいという点」ということが紹介されていました。多様性の時代の中で、自分たちのチームは自主性を大切にしているのだと、伝えたかったのではないかと思います。選手と監督との関係の中で、慶応高校は選手が自主的にやることを決め、それを実行してきたという経緯があつての発言でしょう。慶応高校のやり方が最良で、他

のチームのやり方がいけないというわけではなく、それぞれのチームが、それぞれの思いをもって取り組み、成果を出していると考えます。多様性について考えるきっかけとなる、慶応高校の甲子園優勝であったと感じています。

- ・ 武豊町の小中学生も、学校の部活動や校外のクラブチームに所属しており、夏休みに頑張ったという成果の報告がありました。子どもたちの表彰の記録を見て、自分のやりたいことで結果を出し、皆に祝福されるのはとても素敵なことだと感じました。
- ・ 夏休みの終盤に、ある学校の先生が子どもたちへあてたメッセージが、「頑張りましょう」ではなく「ぼちぼちやってみましょう」でした。気負いすぎず、新学期を迎える前に気持ちが疲れてしまわないように、配慮された先生の言葉かけだったと思います。子どもたち一人一人を丁寧に見て、適切に声かけをしていくことは、とても難しいことだと思います。学校・家庭・教育委員会で子どもの様子を見取って情報を共有し、大切な子どもたちを守っていければよいと考えます。

(教育委員)

- ・ 大治町で起こった母子の事件について、家族や同僚と話をする中で、報道はされていないが、この子の行動の裏にはどんなことがあったのだろうか、と言った人が居ました。報道だけを鵜呑みにするのではなく、その背景にどんなことがあったのかについても、考える必要があると気づかされた言葉でした。母親を害するまで追い詰められていたのだとすれば、どこかでSOSを発信していたかもしれません。それに気づくことができる人が大切なのではと考えます。精神的に追い詰められている子の言動に対して、なにか引かかるものがあれば、武豊町でも、その何かを引っかけられる場が用意できればよいと思います。
- ・ ラーケーションについて、地域の方と話をする機会がありました。気が付いたのは、家庭ごとにすでに確固たる考えをもっているということです。話を聞く限りでは、平日に子どもを休ませて何かをする必要はないと考える家庭が一定数いると感じました。一方で「こういう計画でラーケーションの日を使っていく」と言われる家庭もありました。このように各家庭がきちんと考えをもっているので、学校は登校した子どものために通常の教育課程を進めることに、何もためらう必要はないと考えます。この取り組みが、真に良い物であれば、愛知県だけでなく他の県にも広がっていただろうと思います。

(教育委員)

- ・ インターネットに、ブルーハーツの甲本ヒロトさんへ「学校に居場所がない子に言ってあげられることはありますか？」という質問をした時の、答えが紹介されていました。「居場所あるよ。席あるじゃん」「(クラスメイトなんて) たまたま同じ年に生まれた近所の子が、同じ部屋に集められただけじゃん」「電車でたまたま同じ車両に乗り合わせた人全員が、仲良くする必要なんてないよね」だからそれを考えると、別にクラスで友達が居なくてもよいのだ、このような趣旨のことが書かれていました。
人間関係で苦しむのは、「皆と仲良くしなければならぬ」「友達が居なければならぬ」という考えに、捕らわれているからではないでしょうか。そのために我慢する、言いたいことも言えない、辛抱する、というように苦しむのであれば、「別に皆で仲良くしなくてもよい」という思い切りも、時には自分を救うことになる、必要な考え方なので

はないかと思います。皆で仲良くしなければならぬ。皆が助け合わなければならぬと、大人は言いがちですが、それによって苦しむ子がいるのであれば、そんなことしなくてもいいよと言ってあげるのも、もしかしたら必要なのではないかと考えます。

- ・ 8月に武豊町の防災リーダー研修を受講しました。そこには武豊中学校の生徒が3人来ていました。話を聞くと、「自主的に受講しようと考え、参加した。」とのことで、大変立派だと思いました。9月4日は関東大震災100周年にあたり、ラジオで東京都荒川区の中学校には各中学校に防災部があるという紹介がありました。その部の部長インタビューでは「助けられる立場の中学生ではなく、助ける立場の中学生になりたいと考え、防災部に入りました」ということも紹介されていました。武豊町の中学生も、この部長と同じように考え、防災リーダー研修会に参加されたのだと思います。

私と同世代の方と話をしていると、主体的にもの考えない方が多いと感じることがあります。考える習慣を身につけないまま、年齢を重ねてきたのだと思います。教育委員として初めて学校訪問に行き、驚いたのは、子どもたちが主体的に考えるようになる、そのための授業が行われているということについてです。これからの子どもたちは、いろいろな人の意見を素直に受け入れるだけでなく、自分だったらどうするかを常に考え、主体的に行動する力を身につけることが求められていると思います。

- ・ 初めの話に戻りますが、まず自分で考え行動する、人の意見には左右されない、そんな教育を続けていくと、子どもたちが人間関係で苦しむことも減っていくのではないかと思います。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和5年 月 日
署名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者 神谷 俊輔